

教員名	頼住 光子 (YORIZUMI Mitsuko)
所 属	文教育学部人文科学科哲学講座
学 位	博士 (文学) (1994 東京大学)
職 名	助教授
URL/E-mail	

◆主要業績

総数 (7) 件

- ・『比較宗教への途 3 人間の文化と神秘主義』
(吉村均・保坂俊司・新免光比呂氏との共著 北樹出版 2005年4月1日 序章神秘主義とは何か pp.15-51、第五章中国における神秘主義 pp.193-211、第六章日本における神秘主義 pp.212-224)
- ・『道元 自己・時間・世界はどのように成立するのか』(単著) NHK 出版 2005年11月30日 126頁
- ・「宗教と倫理をめぐる一考察—道元の二つの因果観をてがかりとして—」
(文部省科学研究費研究成果報告書「時間論をてがかりとした道元思想構造の総合的研究」研究課題番号15520010 平成15～17年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究代表者：頼住光子 研究成果報告書、平成18年3月 pp.1-11)

◆研究内容

頼住光子の2005年度の研究内容は、以下の4領域からなり、その研究成果については、大学院イニシアティブによるフランスシンポジウムや学術雑誌において発表された。

- ① 日本仏教の思想的研究 道元や親鸞などの、仏教思想家の著作を厳密にテキストクリティークし、その思想構造を探求し、日本仏教の独自性と普遍的意義とを追及する。
- ② 日本近代思想に関する研究 和辻哲郎など日本近代思想についての再検討。とくに「超越」「自己」「非還元主義」などをてがかりとして、日本近代思想の持つ意義を解明。
- ③ 比較思想学、比較宗教学による研究 日本の思想や宗教を考える上で、比較の手法を使い、他のアジアの思想(中国、インド)、ヨーロッパ思想との比較対照において、日本の思想や宗教の特徴を解明。
- ④ 道徳教育、宗教教育に関する理論的研究 日本人の道徳性や宗教性を解明し、それらに適合する道徳教育や宗教教育を行うための理論的基盤を明示。

◆教育内容

- ① 学部、大学院(博士課程、修士課程)における講義とゼミを行い、日本倫理思想史、宗教哲学、比較思想学について、入門、基礎、応用的教育を行った。
- ② 学部、大学院(博士課程、修士課程)の学生の、日本倫理思想史、宗教哲学、比較思想学について、論文指導を行った。特に、博士論文執筆中の学生、学会誌投稿論文執筆中の学生に対しては、メールなどを使って、懇切丁寧な指導を行い、内容的なアドバイスや、論文としての体裁を整えるための添削を行った。
- ③ 魅力ある大学院イニシアティブの事業の一環として、博士課程学生を引率して、フランスでシンポジウムを行い、学生の発表を指導した。
- ④ 大学院教育の実質化のために、博士課程学生に、ゼミ等で指導を行い、また論文指導を丁寧に行うだけではなく、RAとして各種の学術的活動を行えるよう指導した。

◆Research Pursuits

Mitsuko Yorizumi's study in 2005 consists of following four spheres.

- ① A Study of the thought of Japanese Buddhism A Study of Dogen and Shinran and so on.
- ② A Study of Japanese Modern Philosophy A Study of Teturo Watuji and Ryosen Tsunashima and so on.
- ③ A Comparative Study of Japanese and Western or Asia Thought and Religion A Comparative Study of Japanese and Western Mysticism and so on.
- ④ A Study of Japanese Moral Education Especially a Study of Japanese Religious Education in Public Education.

◆共同研究例

- ・宗教教育研究

◆将来の研究計画・研究の展望

将来の研究計画としては、東洋の哲学とりわけ仏教思想の現代的意義を探求する予定である。特に、現在の中心的研究対象である道元にしても親鸞にしても、従来の研究は、宗門の護教的研究が主流を占めており、そのような中で、文献学的な正当性と思想史的背景を踏まえた思想研究を行い、東洋の哲学の普遍的意義を探求したいと思う。そのために、現在、個人として行っている研究と平行して、現在進行中の比較思想的見地からの国際的プロジェクトを推進したと考えている。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・仏教思想（特に親鸞、道元）の思想的研究
- ・日本近代哲学の研究（和辻哲郎、綱島梁川他）
- ・道徳教育としての宗教教育の研究

◆受験生等へのメッセージ

私どものゼミにおいては、日本の（場合によっては、アジアやヨーロッパも含めて）古今の思想的な文献を正確に読むことをまず訓練します。それを通じて、人間とは何か、また自己とは何かという問題を、深く広く考えていきたいと思っています。

特に、現在、ゼミにおいて中心的に探求しているのは、仏教哲学など、東洋の思想伝統の中に、普遍的なものでありつつ、西洋近代の要素還元主義的な発想からは看過されがちであった関係主義的発想、非実体化的発想をさぐり、それをてがかりとして、「自己」「超越」などの概念を再検討することです。それによって、従来、無自覚のうちに固定的なものとして捉えられがちであった「自己」概念を解体し、諸関係の結節点として捉えるという非要素還元主義的「自己」観念を明らかにするとともに、さらに、神として実体化された「超越」（いわゆる西洋的超越概念）に対して、それ自身のうちにすべてを成り立たせる「場」としての超越概念を、東洋の思想、宗教のうちに捉えたいと考えております。

◆Educational Pursuits

Mitsuko Yorizumi's education in 2005 consists of following four spheres.

- ① Seminar and Lecture of Japanese Philosophy and Buddhism for Undergraduates and graduates.
- ② Guidance of theses and papers for Undergraduates and Graduates.
- ③ Leading Undergraduates and Graduates to Symposium in France and Guidance of their Publication.
- ④ Guidance of various academic acts for Graduates.